

平素より、患者さんのご紹介をいただき、有難うございます。  
当院では、小児科以外は予約制で診察を行っております。  
患者さんのご紹介に際しましては、紹介状をご用意いただき  
お取りいただきますよう、お願い申し上げます

**事前に必ず予約を**

**医療機関からの予約は 地域連携直通電話・FAX へお願いします。**

TEL: 047-458-6543 FAX: 047-458-6545

- ・ 受付時間: 月～金 9:00～16:00 土 9:00～11:30
- ※ 日曜、祝日、毎月第3土曜日、創立記念日(12/5)、年末年始(12/30～1/4) 休み
- ・ 時間外の場合は FAX を送信してください。翌受付時間内にお返事いたします。

**患者さんからの予約は 電話予約センター にて承ります。**

予約センター電話番号: 047-458-6600 (患者さん専用)

- ・ 最初に音声ガイダンスが流れます。紹介状をお持ちの患者さんは 1 を押していただきます。
- ・ 受付時間: 月～金 9:00～16:00 土 9:00～12:00
- ※ 日曜、祝日、毎月第3土曜日、創立記念日(12/5)、年末年始(12/30～1/4) 休み
- ・ 予約時間等の変更時にも、必ず電話にてご連絡ください。

■検査連携について

- ・ 検査連携は、医療機関からの依頼のみの受付になります。直接、患者さんからの受付は出来ません。
- ・ 連携検査: CT、MRI(単純)、RI、X-P、マンモ、骨密度、セファロの画像検査のみ

■やちよ夜間小児急病センターについて

- ・ 専用電話番号: 047-458-6090 (医療相談は行っておりません)
- ・ 受付時間: 18:00～23:00
- ※予約は必要ありませんので、直接ご来院ください。

**今年もリレー・フォー・ライフは2015に救護班として参加いたしました!**

リレー・フォー・ライフは、がん患者さんの支援とがん予防や治療に関する啓発を目的に、全国各地で開催されているチャリティーイベントです。がん患者さんとともに歩き、語ることで生きる勇気と希望を生み出したいという思いをこめて、24時間一昼夜にわたり歩き続け、毎年多くの患者さんや家族、がん治療に関わる医療機関や企業・団体などが参加・協力しています。

千葉県では6年連続で八千代市での開催となり八千代医療センターは、第1回目より「救護班」として、参加者の方々の応急処置に対応するなどお手伝いさせていただいてきました。今年は8月8日～9日に八千代市民体育館にて開催され、当院からは医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、事務職員など約15名が参加し、救護の傍ら、参加者とともに歩き、みんなで交代(リレー)しながら頑張りました。今回は初めて屋内での開催となり、熱中症も心配されましたが、幸いにも大きなけがや事故もなく、無事に終わることができました。



また、八千代市での開催は今年が最後とのことで、これまでの協力に対し、大会事務局よりイベントに先駆けて折られた千羽鶴をいただきました。

2人に1人ががんで亡くなると言われている中で、このイベントを通して、改めてがんに向き合うことで、多くのことを学ぶことができ、貴重な体験となりました。救護班としては最後となりましたが、今後は有志によるチームとして参加できたらと思っています。

医療支援室長 梶島 正之

〒276-8524  
千葉県八千代市大和田新田 477-96  
(代表)047-458-6000

医療支援室 TEL 047-458-6543  
FAX 047-458-6545

2015.11  
発行

理念: 地域社会に信頼される病院としての心温まる医療と急性期・高機能・先進医療との調和

～基本方針～

- ・ 本学の理念である「至誠と愛」に基づき、皆さまに信頼される病院を目指します。
- ・ 患者さんのプライバシーを守り、一人ひとりの権利を尊重します。
- ・ つねに最先端の医療技術と知識を用いて、安全で良質の医療を提供します。
- ・ 患者さんに合った最善のチーム医療を行います。
- ・ 中核病院として地域の診療所・病院等との連携を推進し皆さまの健康を維持・増進します。



**10年目を迎えるにあたって**

当センターは、平成18年12月開院し9年が経ちました。現在、臨床研修指定病院、総合周産期母子医療センター、全県対応型小児連携拠点病院、地域災害拠点病院、地域医療支援病院、DPCI 群(高密度診療病院)、小児総合医療施設(全国で30番目)、がん診療連携協力病院、DMAT 指定医療機関、病院機能評価などの認定を受けております。

現在357床(35診療科)ですが、平成28年度には501床に増床され、新棟にはヘリポートも完備し、SCU、がん関連病棟も新設されます。なお、救急救命センターも設置を予定しております。

今後ますます増える虚血性心疾患、脳血管障害、悪性新生物、糖尿病や精神神経疾患などの成人医療や小児周産期疾病の千葉県の一拠点病院になっていくと思われま

ず、さらには未然に病気を防ぐ予防医療体制も今後整備していく所存です。

今後ますます地元医療機関の皆様方と連携を密にして、地域に密着した医療、地域医療機関との機能分担、自己完結型から地域完結型医療から予防をkey wordに21世紀型の市民参加型の地域中核病院を目指していきます。

今回のグリーンズには各診療科別診療可能な疾患・症状/ご応答できない疾患の一覧表をメインに作成いたしましたので、円滑な地域連携につなげていただければ幸いです。

平成27年11月

病院長 新井田 達雄

## 診療科別 疾患・症状/ご応需できない疾患

現在、当院では総合内科を開設しておりません。医療機関の先生方には、いずれかの診療科を指定して患者様をご紹介いただければ幸いです。各診療科の取扱い疾患をまとめましたので、ご参照ください。

	扱う疾患・症状 / 実施する検査等	ご応需できない疾患 行っていない検査
呼吸器内科 科長: 桂 秀樹	・肺炎、肺炎などの呼吸器感染症、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、間質性肺炎、慢性咳嗽、睡眠時無呼吸症候群などの呼吸器疾患全般 ・在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法など在宅呼吸ケア、呼吸リハビリテーション 専門外来: 禁煙外来、睡眠時無呼吸外来、呼吸リハビリテーション外来 【実施検査】 終夜睡眠ポリグラフィ、気管支鏡	
糖尿病・内分泌代謝内科 科長: 橋本 尚武	・1型、2型糖尿病/内分泌疾患の機能異常、代謝異常疾患 ・糖尿病患者の網膜症、腎症、神経障害、脳梗塞・心筋梗塞などの大血管障害発症予防。 ・糖尿病合併妊娠の診療・指導(母性胎児科と共同診療) 専門外来: 甲状腺外来、和漢診療外来、1型糖尿病外来	× 神経性食思不振症 × 甲状腺放射線療法
腎臓内科 科長: 小池 美栄子	・腎炎や腎不全の診断と治療 ・各種の血液浄化療法(血液透析、血液ろ過透析)や血液交換、免疫吸着などの特殊治療 【実施検査】 腎生検	× 腫瘍や水腎症の精査は泌尿器科
循環器内科 科長: 春田 昭二	・心臓や血管系の病気の診断および治療 ・虚血性心疾患、不整脈(徐脈性または頻脈性)、ブルガダ症候群の疑い、 ・心不全、心臓弁膜症、大動脈瘤(胸部または腹部)、下肢静脈血栓症の疑い ・症状としては胸痛、胸部圧迫感、動悸、理学的所見としては心雑音 【実施検査】 ・心臓カテーテル検査、冠動脈 MDCT、心筋シンチ、電気生理学的検査など 【実施治療】 ・カテーテルインターベンション(PCI)、下肢動脈形成術(IVR科でも可) ・ペースメーカー植え込み術、カテーテルアブレーション(心房細動、上室性頻拍、心室性頻拍に対する)	× 除細動機植え込み、除細動機植え込み患者のフォロー
消化器内科 科長: 西野 隆義	・逆流性食道炎、食道静脈瘤などの食道疾患 ・胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病などの消化管疾患 ・肝炎、胆管炎、胆のう炎、肝硬変などの肝臓疾患 ・胆石、肺炎、重症急性肺炎、胆道癌、膵臓癌など胆道・膵臓疾患の内視鏡的治療 【実施検査】 ERCP、EUS、胆管ステント、肝炎治療 食道静脈瘤効果療法	× 劇症肝炎 × 胆石の破砕
神経内科 科長: 大橋 高志	脳梗塞、頭痛、てんかん、脳炎、髄膜炎、多発性硬化症、視神経脊髄炎、重症筋無力症、ギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー、認知症、末梢神経障害、ミオパチー、パーキンソン病関連疾患、レストレスレッグス症候群、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、片側顔面痙攣、眼瞼痙攣、その他神経内科疾患全般 【実施検査】 CT、MRI/MRA、脳血流シンチ、MIBG心筋シンチ、DATスキャン、脳波、電気生理検査、頸動脈エコー	× 頭部外傷 × 脳脊髄液減少症 × ナルコレプシー × 過眠症 × 頸椎筋痛症 × 慢性疼痛 × 急性脳炎

	扱う疾患・症状 / 実施する検査等	ご応需できない疾患 行っていない検査
母体胎児科 科長: 正岡 直樹	・分娩 ・ハイリスク妊娠、分娩管理(前置胎盤、多胎、合併症妊娠胎盤など) 【実施検査/手術】 胎児超音波診断、救急母体搬送受入れ(母体胎児集中治療室6床) 正常分娩用の LDR4 床のほか、ハイリスク LDR/分娩手術室、無痛分娩(計画分娩)	× TOLAC(既往子宮手術後経産分娩) × 骨盤位経産分娩(一部を除く) × 胎児鏡下レーザー血管手術 × 精神疾患合併妊娠
婦人科 科長: 正岡 直樹	・子宮・附属器(卵管、卵巣)の悪性、良性疾患、内分泌疾患 ・体外受精を除く不妊・不育症治療など ・子宮筋腫、子宮内膜症、更年期障害のホルモン治療 【実施検査/手術】 ・化学療法 ・内視鏡下手術(腹腔鏡、子宮鏡) (卵巣摘除、子宮外妊娠、粘膜炎子宮筋腫など)	× 体外受精
新生児科 科長: 佐藤 雅彦	主に新生児集中治療室にて治療を必要とされたお子さんの発育・発達を診させていただく診療科です。	
小児科 科長: 濱田 洋通	・すべての小児疾患の初級対応 専門外来: ・アレルギー外来 ・糖尿病・内分泌外来 ・心臓・川崎病・不整脈外来 ・腎臓外来 ・シナジス外来(心臓疾患の子) ※6ヶ月以内に接種 ・基礎疾患のある乳幼児の予防接種 ・学校検診の2次検診(心臓、腎臓) ・乳幼児健診の2次検診	× 血液腫瘍性疾患の化学療法
神経小児科 科長: 高梨 潤一	・てんかんなどのけいれん性疾患 ・先天異常や周産期障害 ・生後に発症した疾患などに起因する運動障害 ・知的障害 ・注意欠如多動性障害などの発達障害	× 摂食障害 × 強迫性障害 × 小児うつ病 × PTSD など精神科疾患 × 自殺企図・強度行動異常など精神科救急の対象となる状態
小児集中治療科 科長: 安川 久美	まずはご相談ください。	
救急科 科長: 貞廣 智仁	・一刻を争う緊急対応が必要な疾患 ・ICU(集中治療室)での全身管理が必要な重症な疾患 (救急科が窓口となりますので疾患に関わらずご連絡ください)	
救急搬送の場合	救急搬送時にご担当の医師から、代表 047-450-6000 に「救急車搬送希望」とおっしゃってお電話ください。その際、循環器内科、整形外科など、診療科を指定してくださるようお願いいたします。 一刻を争う緊急対応が必要な場合は救急科医師が対応いたします。	
当院でおこなっていないもの	× 放射線治療 × DNA 鑑定 × 性同一性障害 × LOH 症候群(男性の更年期) × 精神科疾患 × 成人の ADHD(注意欠陥、アスペルガー症候群)	

	扱う疾患・症状 / 実施する検査等	ご応需できない疾患 行っていない検査
皮膚科 科長: 三石 剛	<ul style="list-style-type: none"> <li>湿疹</li> <li>皮膚炎(アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、脂漏性皮膚炎など)</li> <li>蕁麻疹・痒疹</li> <li>多型滲出性紅斑をはじめとした紅斑症</li> <li>紫斑病・血管炎</li> <li>中毒疹・薬疹(重症薬疹を含む)</li> <li>水疱症(尋常性天疱瘡、水疱性類天疱瘡)</li> <li>膿疱症</li> <li>乾癬をはじめとした炎症性角化症</li> <li>母斑・皮膚良性腫瘍(脂漏性角化症、粉瘤、石灰化上皮腫など)</li> <li>皮膚悪性腫瘍(基底細胞がん、日光角化症、Bowen病など)</li> <li>毛髪・爪甲疾患</li> <li>尋常性ざらつき</li> <li>ウイルス性疾患(単純ヘルペス、帯状疱疹、ウイルス性疣贅)、細菌性疾患・真菌症(足・爪白癬、カンジダ症)</li> <li>性感染症(尖圭コンジローマなど)</li> </ul> 専門外来: いぼ外来、ニキビ外来 <b>【実施検査/治療】</b> 炭酸ガスレーザー、皮膚腫瘍の治療、パッチテスト、皮膚病理組織検査、紫外線療法、金属アレルギー検査 ※指定時間に来れる事(24時、72時後の状態を診る)	
画像診断・IVR科 科長: 遠田 謙	<ul style="list-style-type: none"> <li>下肢閉塞性動脈硬化症(PAD)の治療(血管拡張術)</li> <li>子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓療法(UAE)(保胎診療)</li> <li>肝悪性腫瘍に対する動注療法や動脈塞栓術(TAE・TACE)</li> <li>腎動脈狭窄、透析バスキュラーアクセス狭窄の血管内治療(血管拡張術)</li> <li>喀血に対する気管支動脈塞栓術(BAE)</li> <li>消化管出血、外傷出血に対するカテーテル止血術(TAE)</li> <li>門脈大循環短絡閉塞術(BRTO)</li> <li>胸腹部、四肢動脈瘤の血管内治療(コイル塞栓術)</li> <li>CTガイド下生検(胸腹部)</li> <li>下肢静脈血栓症(循環器内科でも可)</li> </ul> <b>【実施検査】</b> CT(64列、320列)、MRI(3T×5、1.5T×5)、核医学検査 骨密度検査、マンモグラフィー(マンモトームあり) 副腎静脈サンプリング検査(糖尿病内分泌代謝内科を通してから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>×PET</li> <li>×急性肺動脈血栓塞栓症は循環器内科</li> </ul>
内視鏡科 科長: 光永 篤	<ul style="list-style-type: none"> <li>診断治療のために内視鏡検査が必要とされるあらゆる消化器疾患(食道、胃、十二指腸、小腸、大腸ならびに脾・胆道系の良・悪性各種疾患など)</li> <li>検査の内容や患者様の状態あるいは希望に応じて経鼻内視鏡検査や静脈麻酔を用いた鎮静下内視鏡検査、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)と呼ばれる内視鏡を用いた早期消化管癌の治療をはじめとする各種治療。</li> </ul> <b>【実施検査/手術】</b> 経鼻内視鏡、鎮静下内視鏡、MRI 拡大内視鏡、超音波内視鏡、カプセル内視鏡、内視鏡的止血術、EMR、ESD、ES、消化管ステント手術、胃瘻造設術等	
泌尿器科 科長: 乾 政志	副腎・腎尿路疾患、男性生殖器疾患、泌尿器悪性腫瘍(がん)、腎移植、腎不全、排尿障害、尿路結石症、尿路性器感染症 <b>【実施手術】</b> 腹腔鏡手術、経尿道的内視鏡手術、開腹手術	<ul style="list-style-type: none"> <li>×体外衝撃波結石破砕(ESWL)</li> <li>×ED</li> </ul>
心血管外科 科長: 齋藤 博之	<ul style="list-style-type: none"> <li>冠動脈バイパス術</li> <li>弁膜症に対する手術</li> <li>大動脈瘤(腹部・胸部含む)に対する人工血管置換術</li> <li>大動脈瘤(胸部・腹部含む)に対するステント内挿術</li> <li>*胸部については 2015 年より可能となる予定です。腹部は既に対応可能です。</li> </ul>	× 下肢静脈瘤は形成外科

	扱う疾患・症状 / 実施する検査等	ご応需できない疾患 行っていない検査
血液・腫瘍内科 科長: 増田 道彦	<ul style="list-style-type: none"> <li>白血病、リンパ腫、骨髄腫など血液の悪性腫瘍</li> <li>再生不良性貧血、骨髄異形成症候群、血小板減少症、多血症などの血液の病気</li> </ul>	
リウマチ・膠原病内科 科長: 瀬戸 洋平	リウマチ性疾患全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>× 線維筋痛症、慢性疲労症候群などの非炎症性疾患</li> <li>× アレルギー性疾患</li> <li>× 不明熱</li> </ul>
呼吸器外科 科長: 関根 康雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>悪性腫瘍(癌など): 肺がん、転移性肺がん、胸腺腫瘍、縦隔胚細胞性腫瘍、悪性胸膜中皮腫、気管・気管支腫瘍、肺内悪性リンパ腫など</li> <li>肺嚢胞(のうほう)性疾患: 自然気胸、肺のう胞、縦隔のう胞(胸腺のう胞、気管支のう胞、心臓のう胞、食道のう胞など)</li> <li>良性腫瘍: 良性肺腫瘍(結核腫、過誤腫、血管腫、腺腫など)、神経腫瘍、縦隔奇形腫、胸腺腫瘍など</li> <li>重症筋無力症(筋肉に力が入らなくなる病気で胸腺と関係しています。そのため胸腺を摘出します)</li> <li>感染性疾患、その他: 肺膿瘍(肺の中の膿)、縦胸(肺の外の膿)、肺動脈脈(肺の血管の病気)、外傷(肋骨骨折、血胸、肺・気管支損傷など)胸水貯留など</li> </ul> <b>【実施検査】</b> 気管支鏡検査、CTガイド下生検、胸腔鏡検査	
消化器外科 科長: 片桐 聡	<ul style="list-style-type: none"> <li>食道癌、良性食道腫瘍、逆流性食道炎、食道アカラシア</li> <li>胃癌、良性胃腫瘍、GIST(胃間葉系腫瘍)、難治性胃潰瘍、異所性脾</li> <li>十二指腸癌、小腸癌、十二指腸潰瘍、クローン病</li> <li>大腸癌、肛門管癌、潰瘍性大腸炎、直腸脱</li> <li>肝臓癌(原発性、大腸癌などの転移) 肝内胆管癌</li> <li>門脈圧亢進症 肝のう胞</li> <li>胆道癌(胆のう癌、胆管癌、十二指腸乳頭部癌)</li> <li>胆石症(胆嚢結石、胆管結石症、肝内結石症)</li> <li>胆のうポリープ、先天性胆道拡張症</li> <li>膵臓癌、膵良性腫瘍、急性・慢性すい炎、膵・胆管合流異常症</li> <li>急性虫垂炎</li> <li>痔核、痔瘻</li> <li>膈径部～大腸、閉鎖孔、食道裂孔、腹壁疝気ヘルニア症</li> <li>腹部外科全般における疾患および機能異常</li> <li>消化管穿孔による腹膜炎などの救急疾患</li> <li>経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG/ペグ)</li> <li>経皮経食道胃管挿入術(PTEG/ビーテグ)</li> <li>狭窄部拡張やステント挿入留置などの内視鏡治療</li> <li>門脈圧亢進症、難治性腹水に対するデンバー・シャント</li> </ul>	
乳腺・内分泌外科 科長: 清水 忠夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳癌、乳腺腫瘍、乳房石灰化</li> <li>乳房の症状(しこり、分泌、痛みなど)</li> <li>男性の女性化乳房症</li> </ul> <b>【実施検査】</b> マンモグラフィ、乳腺エコー、CT、MRI、エコー下穿刺吸引細胞診、針生検、マンモトーム生検、ステレオガイド下マンモトーム生検、摘出生検、手術(乳房温存手術、R1法によるセンチネルリンパ節生検、良性腫瘍の手術)、形成外科医と連携した乳房再建術、乳癌の薬物治療(化学療法、分子標的療法、ホルモン療法)、セカンドオピニオン	<ul style="list-style-type: none"> <li>× 甲状腺腫瘍</li> <li>× 内視鏡下手術</li> </ul>
女性科外来	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳房の症状(しこり、分泌、痛みなど)、検診の2次検査、良性腫瘍のフォロー</li> <li>泌尿器症状(尿失禁、頻尿など) ※月1回要予約</li> <li>更年期症状 ※月2回要予約</li> </ul>	基本的には相談、初期診断を行い、治療が必要な場合は、専門科へ紹介いたします。 × 女性の痔、肛門周囲の疾患

	扱う疾患・症状 / 実施する検査等	ご応できない疾患 行っていない検査
小児外科 科長: 幸地 克憲	<p>新生児から中学生まで幅広く対応しています。低侵襲手術を目指し、腹腔鏡・胸腔鏡手術を積極的に取り入れています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な疾患: 鼠径ヘルニア、停留精巣、腸ヘルニア、包茎、耳前瘻など。</li> <li>・急性期疾患: 急性虫垂炎、肥厚性幽門狭窄症、腸重積症、肝・胆道系疾患 (胆道閉鎖、胆道拡張症など)、外傷、火傷など</li> <li>・異物誤飲 (気道、消化管)</li> <li>・慢性疾患: 腹痛、便秘、下痢、血便など・便秘症、胃食道逆流症、過敏性大腸症候群、潰瘍性大腸炎、クローン病など</li> <li>・腎・泌尿器疾患: 水腎症、膀胱尿管逆流症、尿管瘤、尿道弁などの外科疾患</li> <li>・夜尿、尿が近いなどの日常の排尿機能</li> <li>・新生児外科疾患: 新生児科と連携して対応</li> <li>・気道系疾患: 気管切開、気管喉頭分離を要する疾患</li> <li>・先天奇形: 漏斗胸、肛門の位置異常 (鎖肛)</li> <li>・腫瘍: お腹や胸の中にできるしこり</li> <li>・人工心臓を要する外科疾患</li> </ul> <p><b>【実施検査】</b> 消化管造影、血管造影・塞栓術、尿路系造影 内視鏡: 上部・下部消化管内視鏡、気管支鏡、膀胱鏡 消化管機能検査: 24時間 pH モニター、消化管内圧測定、ウロダイナミクスなど 小児外科疾患に必要な検査はほぼ全て準備しています。</p>	
脳神経外科 科長: 川島 明次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳血管障害 (くも膜下出血、脳梗塞、脳出血、脳動脈瘤奇形、もやもや病など)</li> <li>・脳腫瘍 (下垂体・聴神経腫瘍、髄膜腫、神経鞘腫、転移性脳腫瘍など)</li> <li>・頭部外傷、機能的疾患 (てんかん、顔面けいれん、三叉神経痛など)</li> <li>・小児脳神経・脊椎神経の外科的疾患など、脳神経外科全般</li> </ul> <p><b>【実施検査】</b> 神経ナビゲーションシステム神経内視鏡、術中血管造影、術中神経モニタリング装置、術中脳血流測定、最先端技術を導入した低侵襲の外科治療 専門外来: もやもや病</p>	
整形外科 科長: 山本 直也	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手足、体幹に痛みや機能障害をもたらす骨関節、脊椎、筋肉、神経などの運動器疾患</li> <li>・特に頸部・腰部痛と四肢神経障害を生ずる頸髄症、歩行困難となる脊髄管狭窄症などの脊椎疾患</li> <li>・膝・股関節に代表される変形性関節症など</li> <li>・骨粗鬆症、各種の骨代謝疾患、リウマチ、外傷などによる骨関節疾患</li> </ul> <p><b>【実施検査】</b> 内視鏡手術、矯正固定手術、圧迫骨折に対する椎体形成術 膝や股関節疾患の関節鏡手術、靭帯再建手術、人工関節手術</p>	
形成外科 科長: 竹内 正徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口唇口蓋裂</li> <li>・耳の変形</li> <li>・手足の先天異常、外傷</li> <li>・顔面外傷 (顔面骨折を含む ※鼻骨骨折)</li> <li>・顔面の変形や先天異常 (正中頭直陥)</li> <li>・熱傷、ケロイド、瘻管拘縮</li> <li>・下肢静脈瘤、皮膚難治性潰瘍、蜂窩織炎、下肢浮腫</li> <li>・皮膚皮下腫瘍・血管腫、母斑、あざ、シミ</li> <li>・腋臭症、陥入爪、巻爪</li> <li>・眼瞼下垂症、眼瞼内反症</li> </ul> <p><b>【実施検査】</b> CO2レーザー、V beamレーザー、光治療器、フラクセル、マイクロサージャリーによる組織移植術</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>× 深部静脈血栓症 (DVT) (エコー検査も含む)</li> <li>× 急性四肢動脈閉塞症</li> <li>× 閉塞性動脈硬化症</li> <li>× 血栓性静脈炎</li> <li>× 漏斗胸</li> </ul>

	扱う疾患・症状 / 実施する検査等	ご応できない疾患 行っていない検査
麻酔科 科長: 佐藤 二郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術のための全身麻酔および局所麻酔</li> <li>・集中治療室での重症患者さんの全身管理</li> <li>・総合周産期センターでのハイリスク妊産婦さんの全身管理</li> <li>・無痛分娩 (母性胎児科と連携して行う)</li> <li>・ペインクリニック (要予約・軽症のみ)</li> </ul>	
眼科 科長: 船津 英雄 小児眼科 科長: 豊口 光子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・眼瞼疾患: 睫毛内反症、老人性眼瞼皮膚弛緩、眼瞼下垂をはじめとした手術</li> <li>・結膜疾患・角膜疾患: 一般の治療、異状片手術、結膜弛緩症手術など、白内障、緑内障の薬物治療と手術</li> <li>・結膜疾患: 糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症、網膜動脈閉塞症、中心性漿液性網膜剥離症、裂孔原性網膜剥離、未熟児網膜症、網膜疾患全般</li> <li>・黄斑疾患: 黄斑浮腫、黄斑前膜、黄斑円孔、加齢黄斑変性、抗 VEGF 治療</li> <li>・ぶどう膜炎: サイコイドーシス、原田病、急性前部ぶどう膜炎、ペーチェット病、水痘帯状疱疹ウイルスはじめウイルス性網脈、経膜炎、その他の原因不明のぶどう膜炎全般</li> <li>・斜視弱視・小児眼科: 乳児内斜視、間欠性外斜視をはじめとした弱視、斜視視能訓練、斜視手術、小児ぶどう膜炎</li> <li>・視神経疾患: 視神経炎、視神経症</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>× 腫瘍</li> <li>× 涙道手術</li> <li>× 角膜移植</li> <li>× 視神経管骨折</li> <li>× 緊急性の高い網膜剥離</li> </ul>
耳鼻咽喉科 小児耳鼻咽喉科 科長: 三枝 英人	<p>耳鼻咽喉科領域全般 (耳・鼻・のど)、めまい、突発性難聴、顔面神経麻痺、鼻出血、上気道狭窄、急性炎症性疾患 (扁桃周囲膿瘍、深頭部膿瘍など)、気道・食道異物などの緊急疾患、嚥下障害、音声障害、構音障害に対する治療 (機能訓練および機能改善手術)、喉頭狭窄の解除、重症心身障害児・者に対する気道管理、統合失調症やうつ病などの精神疾患に伴う嚥下・音声障害・睡眠時無呼吸</p> <p><b>【実施検査】</b> 聴覚機能検査 (内耳機能検査、語音聴力検査、ABR、耳音響放射、補聴器適合検査)、平衡機能検査 (ENG)、重心動揺検査、電気味覚検査、嗅覚機能検査、喉頭ストロボスコピー、筋電図検査 (hooked wired electrode 含む)、嚥下透視、嚥下内視鏡、発声 X 線透視、音響分析、薬物睡眠下睡眠動態検査</p> <p><b>【実施手術】</b> 口腔・咽喉手術 (口蓋扁桃・アデノイド切除、軟口蓋形成、唾石、ガマ腫など) 鼻科手術 (内視鏡下副鼻腔手術、鼻中隔矯正術、下甲介高周波焼灼術など)、耳科手術 (鼓膜形成、鼓膜チューブ留置、鼓室形成など) 喉頭微細手術、喉頭枠組み手術、嚥下機能改善術、舌嚥防止術、構音機能改善術、喉頭狭窄解除、気管切開・閉塞、頭頸部良性腫瘍など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>× 頭頸部悪性腫瘍に対する再建を要する手術・治療</li> <li>× 化学療法</li> <li>※ 但し、術後の嚥下障害、音声障害・構音障害への対応は積極的に行います。</li> <li>× 人工内耳・人工中耳植込み術</li> </ul>
歯科口腔外科 科長: 桑澤 隆輔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋伏智歯等の難度の高い抜歯</li> <li>・歯科以外の疾患を合併している方の歯科治療 (特に抜歯等の外科処置)</li> <li>・心臓病、糖尿病、肝臓病、透析中、抗血栓療法施行中等の種々の疾患</li> <li>・顎顔面外傷・顎骨骨折、口唇・舌などの創傷、顎関節脱臼、歯の脱臼</li> <li>・炎症: 顎骨骨髓炎、蜂窩織炎、歯性上顎洞炎</li> <li>・腫瘍: 口腔顎骨腫瘍</li> <li>・嚥食: 嚥食嚥縮、顎骨嚥縮、ガマ腫、粘液嚥縮</li> <li>・口腔ケア がん患者・心臓血管外科の手術前後の周術期口腔管理、抗癌剤治療時やビスホスホネート製剤使用時の口腔管理</li> <li>・その他: 口腔粘膜疾患、上唇・舌小帯付着異常、顎関節症、唾石、睡眠時無呼吸症候群など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>× 歯科金属アレルギー</li> </ul>